

あずかり保育だより



令和4年1月



今年も子どもたちが友だちと一緒に様々なことに興味・関心を持ち、遊ぶ楽しさを味わうことができるように見守っていきたいと思います。



プリングループ

冬休みに紙テープを製作コーナーに準備をしていたら、「これ、どうやって遊ぶの?」と聞いてきた年少の女の子。「色々な使い方ができるよ。例えばね、こうやって2つでジャバラに折っていくとへびみたいになるよ」と教えてあげると、夢中になって製作していました。その様子を見ていた周りのお友だちも、「どうやって作るの?」「びっくり箱にも使えそう」などお互いに教えあったり、アイデアを出しあったりして遊んでいました。

年度当初は、「先生、どうしたらいい?」「先生、こうしたいんだけど…」など、保育者を介しての遊びが多く見られていましたが、最近はお友だち同士で「こうしたら?」「こうしよう!」と話をしながら遊ぶなど年長組さんが中心になり遊びを考えて進めていく姿が多く見られるようになりました。子どもたちの発想から楽しい遊びが始まっている姿に成長を感じています。



ケーキグループ

寒い日が続いていますが、子どもたちは寒さに負けずに元気いっぱい遊んでいます。年少、年中児は鬼ごっこや狼と7匹のこやぎごっこに挑戦したり、たくさん体を動かして遊ぶことで寒さを吹き飛ばしています。先日、木の枝を使って園庭に小さな丸をたくさん描いていた年長組の2人の女の子。お絵描きでもしているのかと思います、しばらく様子を見てみると、どんどん離れていく2人の距離の間には、子どもたちの小さな歩幅にぴったりな“けんけんば”の丸が出来上がっていました。描き終えた年長児さんたちは満足して片付けに向かいましたが、それに気付いたほかの子どもたちが“けんけんば”をしながらお部屋にかえって行く光景を見ることができ、とても微笑ましく思いました。その次の日には、年少組さんが、“けんけんば”の丸を描き始めたことでまた遊びがつながり、その日は思う存分楽しむことができました。途中、音符のマークを描いてみると・・・「これは何のマーク?」「歌うの?」「踊るの?」と興味津々の子どもたちは、最初は照れながら通過していましたが、次第に、思い思いに踊ったり、歌ったり、表現を楽しみながら全身運動で体も十分動かして遊ぶことができました。年長組さんのお絵描きをきっかけに、遊びが発展し、子どもたちのアイデアでまたさらに発展して新しい遊びを生み出していけることを感じた出来事でした。引き続き、寒さ対策もしながら、元気に過ごせるようにしていきたいと思います。

